

Machi Tawara, Japon

- 1) 陽のあたる壁にもたれて座りおり平行線の吾と君の足
- 2) 沈黙ののちの言葉を選びおる君のためらいを楽しんでおり
- 3) 「また電話しろよ」「待ってろ」いつもいつも命令形で愛を言う君
- 4) たっぷりと君に抱かれているようなグリンのセーター着て冬になる
- 5) 「嫁さんになれよ」だなんてカンチューハイ二本で言ってしまうといいの
- 6) 手紙には愛あふれたりその愛は消印の日のそのときの愛
- 7) 今日までに私がついた嘘なんてどうでもいいよというような海
- 8) いつもより一分早く駅に着く一分君のことを考える
- 9) 愛している愛していない花びらの数だけ愛があればいいのに
- 10) 「クロッカスが咲きました」という書き出しでふいに手紙を書きたくなりぬ